

BCH83048ONE、BCH83052 CPUボード用 ユニバーサルボード
取扱説明書

初版 2006.02.04

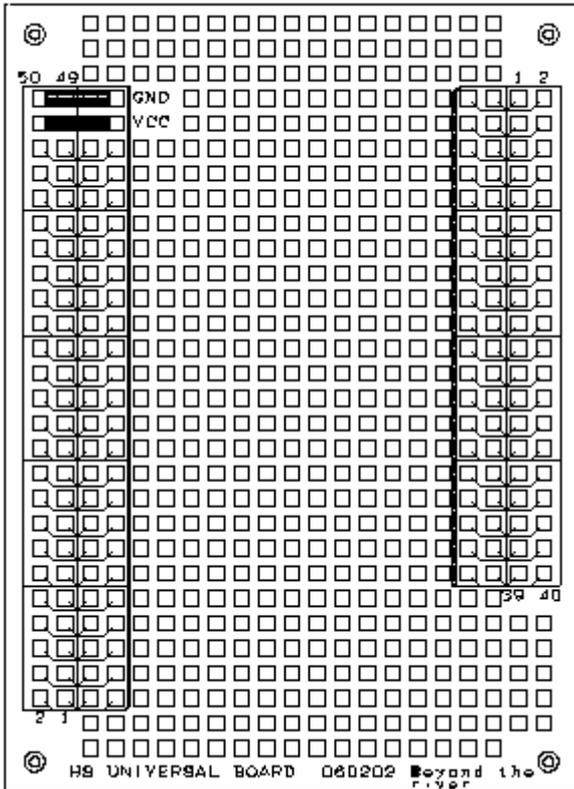
BUK1

有限会社 ビーリバーエレクトロニクス

概要

本製品はBCH83048ONE、BCH83052

ボードの上にPC104用コネクタで重ねて使用するユニバーサルボードです。複数枚の重ねが可能で、重ねてもCPUの信号線はそのままユニバーサルの上にてています。CPUと同じサイズでコンパクト、ローコストですので試作から量産品までそのまま使用することができます。



特徴

- a) 2.54mmピッチ両面スルーホール、穴径1mmのランドによりTTL IC(DIP 14ピン)で12個、20ピンで9個程度実装できます。各種2.54mmピッチコネクタも実装できます。
- b) 添付のPC104コネクタ 40ピン、50ピンによりCPUボードの上に複数枚重ねて使用できます。重ねてもどのボードにもCPUボードからの信号線がでます。
- c) PC104用コネクタは後付けなので作業が容易です。

製品構成

ユニバーサル基板	1枚
40ピン ピンヘッダ	1個
50ピン ピンヘッダ	1個
40ピン PC104コネクタ	1個
50ピン PC104コネクタ	1個
本取扱説明書	1部

外形寸法、電源

80×58mm (CPUボードと同じサイズ)

電源はCPUボードと重ねることによりCPU側から供給されます。

コネクタ

CPUボードのコネクタCN3, CN4の信号がPC104用コネクタによりそのままユニバーサルボードの上に出ます。CN3, 4の信号名につきましてはCPUボード添付の取扱説明書を参照下さい。

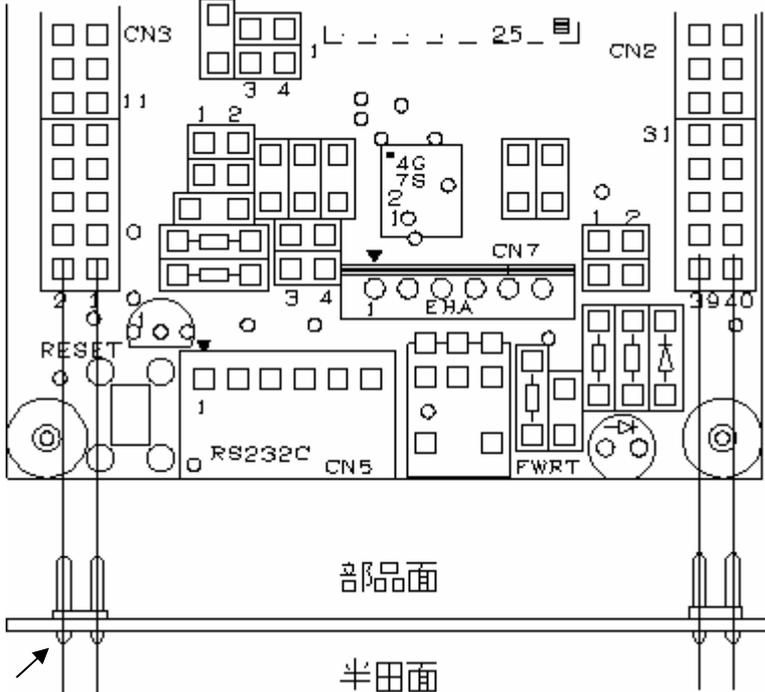
使用方法

a) 使用前準備

始めにCPUボードに添付の50ピン、40ピンのピンヘッダを半田付けします。注意点は

- 1) ピンヘッダは長い方を部品面にする。
- 2) ピンヘッダは基板に対して垂直に半田面側から半田付けする。

です。(下図参照)



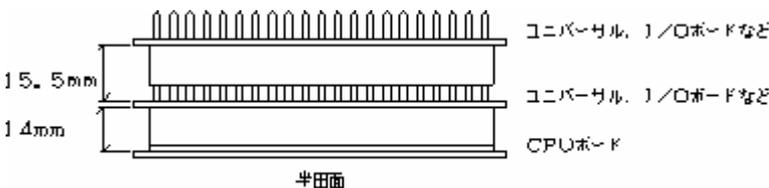
ピンの短い方を半田面にし、半田付けする。

半田付けのこつは、まずピンヘッダの両端のピンを仮半田付けし、CPU基板に対して浮いている部分が無いか、垂直になっているか確認し、OKであれば残りのピン全てを半田付けします。もしくは、ユニバーサルボードを部品面より重ねてしまってから半田付けします。

垂直でなく半田付けされたピンヘッダではユニバーサルボードを部品面より重ねることができません。また、その修正は大変な労力を要しますので注意して作業して下さい。

b) 次にお客さまの回路図に従いユニバーサルボード内側の端子に配線を行い、最後に添付のPC104用コネクタを外側に半田付けしてCPU上に重ねて下さい。PC104用コネクタは部品面よりユニバーサルボードに垂直になるよう半田付けします。ですので、部品がPC104用コネクタに近すぎたり、背が高すぎると半田付けできない場合がありますので注意して下さい。

他の拡張ボードと重ねて使用できます。CPUボードのピンヘッダとユニバーサルボードのコネクタ間に隙間が無いように挿入します。4隅をネジ止めする場合、14mmのスペーサーを使用します。ユニバーサルボードの上にまたユニバーサル、I/Oボードなどを重ねる場合、隙間が開くのが正常です。スペーサーは15.5mmのものを使用します。



使用上のご注意

環境の悪いところ(ノイズ、油、ほこり、塵、高温)での使用はお止め下さい。

お問い合わせ

B U K 1 ボード についてのお問い合わせは以下にお願い致します。

お問い合わせ内容	会社名	電話番号	F A X 番号
開発、販売、カスタム対応	有限会社ビーリバーエレクトロニクス	0 4 2 - 9 8 5 - 6 9 8 2	0 4 2 - 9 8 5 - 6 7 2 0
販売代理店、部品	サンデン商事株式会社 (担当 : 譜久山 ふくやま)	0 3 - 5 8 1 8 - 7 7 5 1	0 3 - 5 8 1 8 - 6 6 3 0

各会社のホームページ、住所、他

会社名	ホームページ (メールアドレス)	住所	他
有限会社ビーリバーエレクトロニクス	http://beriver.co.jp/	〒 3 5 0 - 1 2 1 3 埼玉県日高市高萩 1 1 4 1 - 1	ハードウェア設計、製造元
サンデン商事株式会社	http://www.sandenshoji.co.jp	〒 1 0 1 - 0 0 2 1 東京都千代田区外神田 6 - 1 2 - 3 ビックウエ ストビル 3 号館 4 F	秋葉原地区代理店、各種部品、ハーネスアッシーなど販売